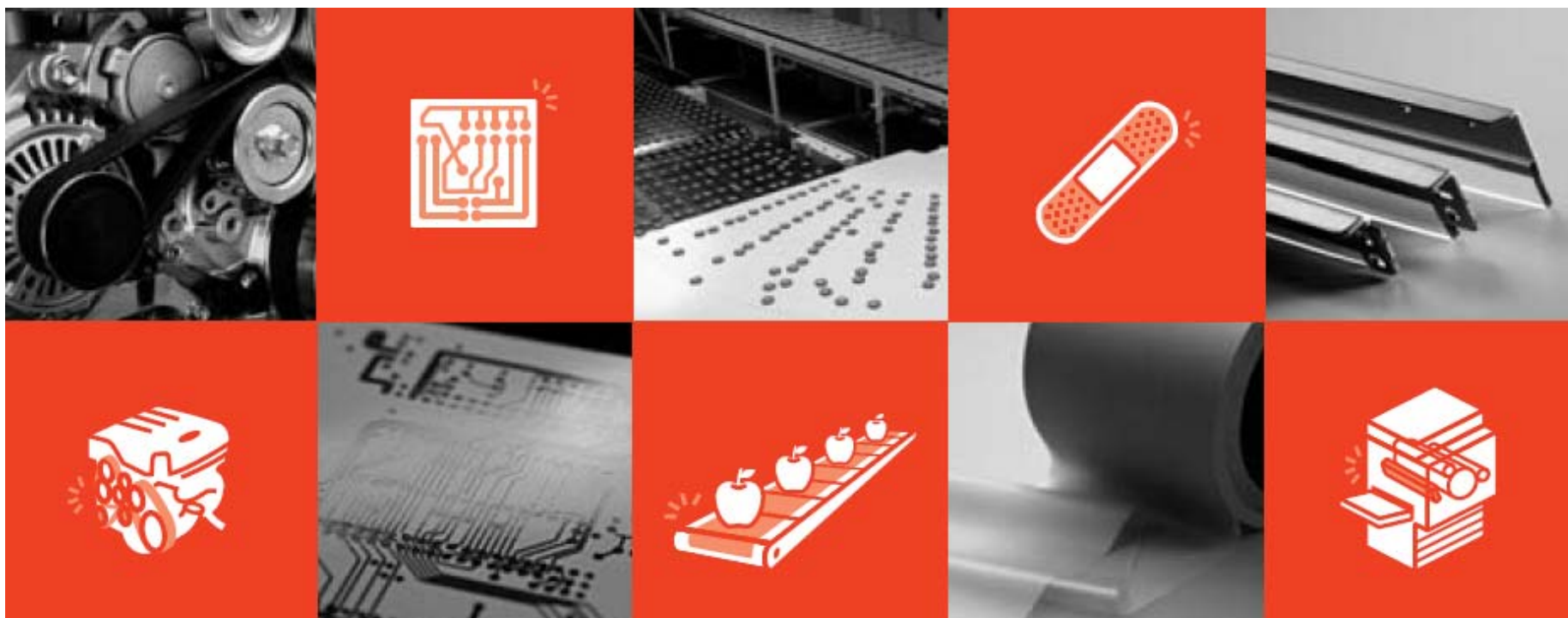




2015年3月期 決算説明会
2015年5月21日
バンドー化学株式会社

I . 会社概要

II . 2015年3月期 決算概要

III . 2016年3月期 業績予想

IV . 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2015年3月31日現在)

ベルト事業

自動車分野



●自動車用補機駆動ベルト ●オートテンショナ

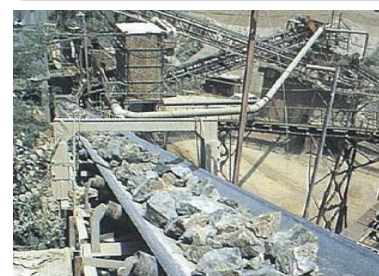
産業機械分野



農業用機械分野



搬送分野



エラストマー製品事業

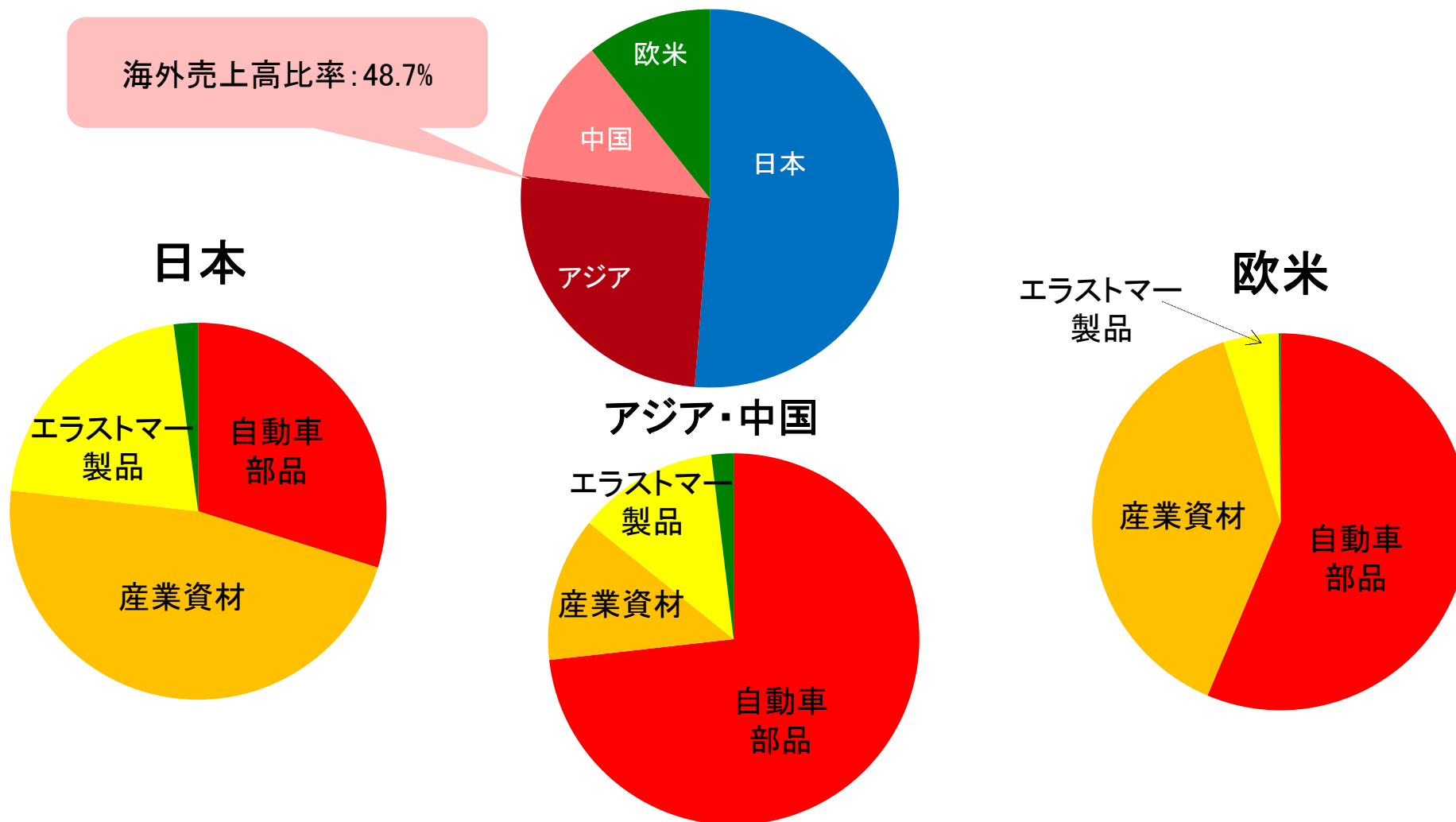


●精密機能部品製品 ●機能フィルム製品
(左:クリーニングブレード 右:高性能ローラ)

■ 事業構成（所在地別・製品別売上高）

所在地別売上高構成比率

海外売上高比率：48.7%



■ 世界でのベルト事業(自動車部品・産業資材)の占める割合は81.8%。

Ⅱ. 2015年3月期 決算概要

■ 2015年3月期 決算ハイライト

(百万円)

	2014/3	2015/3				
	実績	期初業績 予想(※)	修正業績 予想(※)	実績	前年同期比 増減額	修正業績 予想値差額
売上高	93,434	95,000	94,000	95,395	+1,961	+1,395
営業利益	5,517	5,800	4,600	4,797	△720	+197
経常利益	6,103	6,400	5,600	5,730	△372	+130
当期純利益	4,280	4,300	3,900	3,758	△522	△141

※期初業績予想は2014年5月14日に、修正業績予想は2015年2月13日に外部発表したものである。

- 売上高は、前年同期比+2.1%。
- 利益面では、グローバルな生産体制増強のための人員増や、国内における退職給付債務に係る数理計算上の差異の増加等により、営業利益は前年同期比△13.1%。
- 特別損失(減損損失)を当期に計上。

■ 2015年3月期 事業セグメント別業績

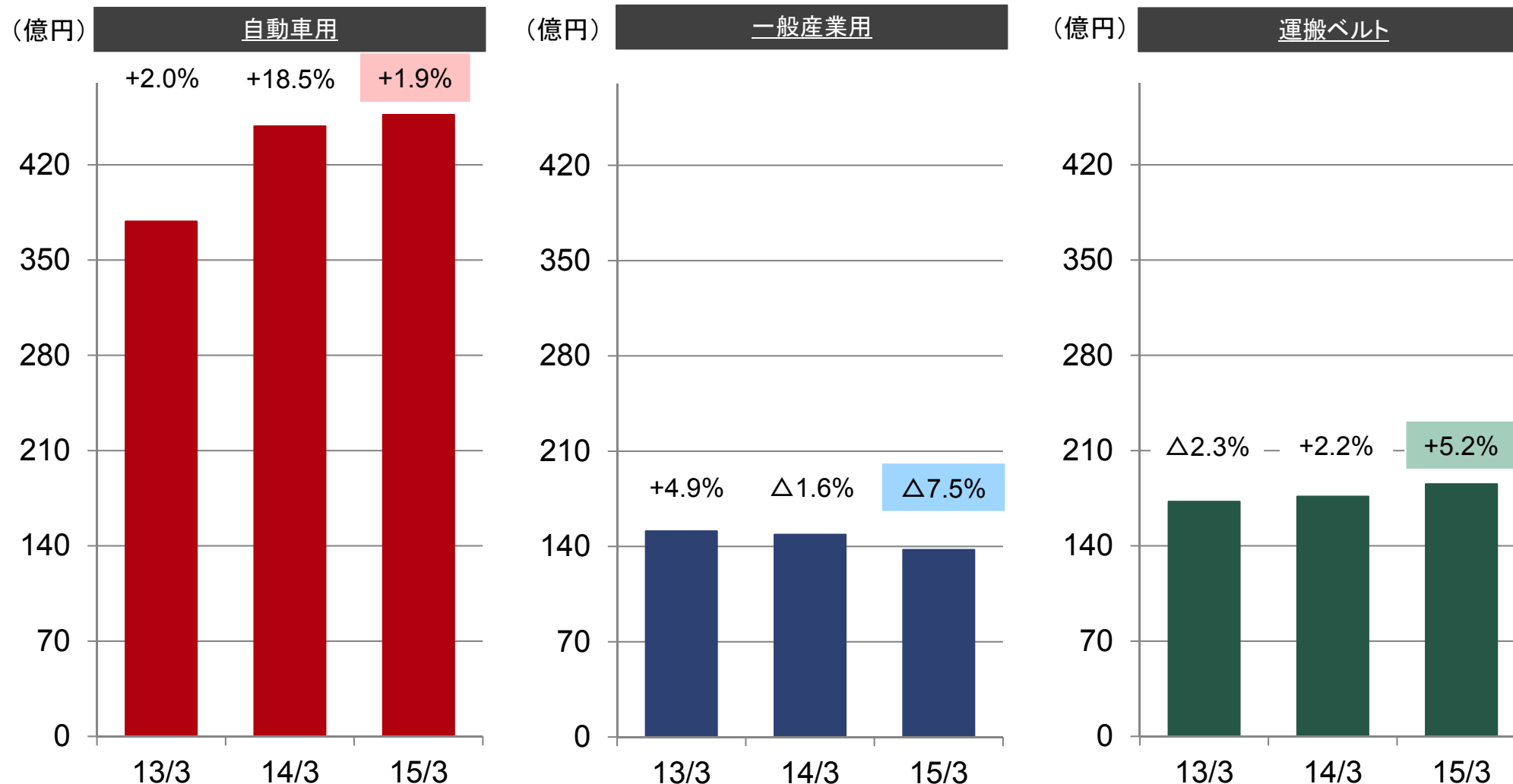
(百万円)

	2014/3	2015/3		
	実績	実績	修正 業績予想値	修正業績 予想値差額
売上高	93,434	95,395	94,000	+1,395
ベルト事業	77,483	78,101		
エラストマー製品事業	14,989	15,712		
その他	2,230	2,646		
セグメント間消去	△1,268	△1,064		
営業利益	5,517	4,797	4,600	+197
ベルト事業	4,892	4,155		
エラストマー製品事業	281	328		
その他	187	198		
調整額	157	115		

■ ベルト事業 売上高推移

売上高: 78,101百万円 前年同期比: +0.8%

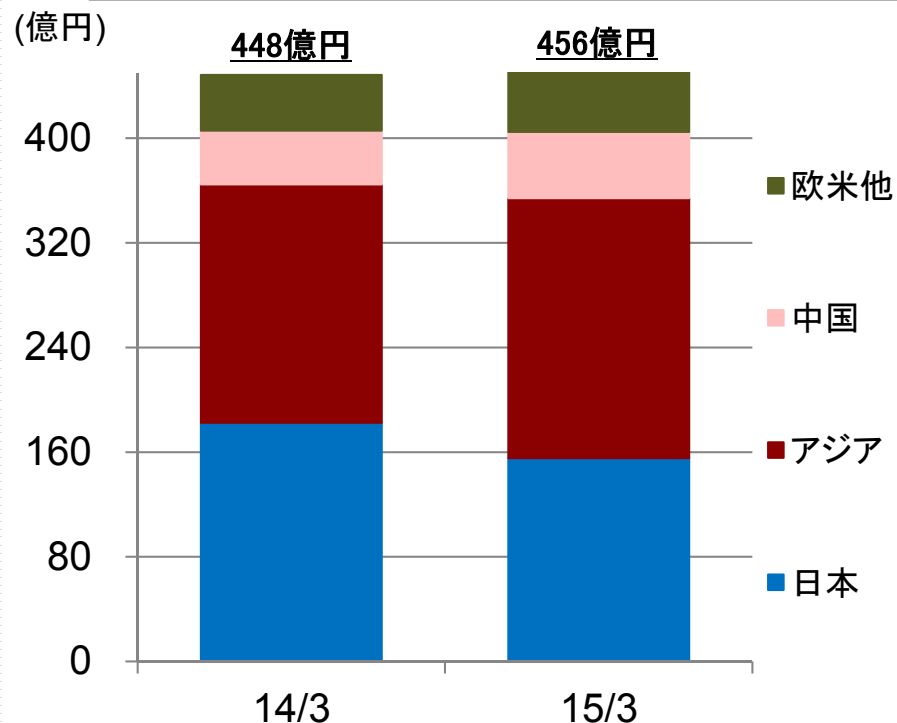
✓ 自動車用の伸び悩みが影響し、前年同期比で微増。



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

所在地別売上高



欧米他
(+22.3%)

- 米国の自動車生産台数は前年同期比104%。自動車OEMのシェアアップと補修市場での拡販に注力。
- 欧州の自動車生産台数は前年同期比103%。売上高は前年同期比117%。

中国
(+23.1%)

- 自動車生産台数、前年同期比106%。
- 補機駆動用ベルト、オートテンショナとも好調。

アジア
(+9.0%)

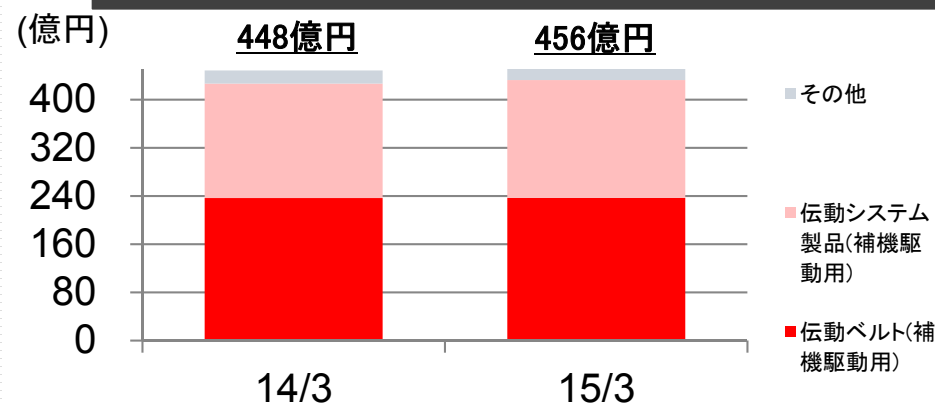
- タイの自動車生産台数は補助金の終了により前年同期比84%。韓国はストライキ等の影響で前年同期比98%。
- 自動車用ベルトはタイで減少したもののインドで増加し、アジアではスクーター用変速ベルトなどが好調に推移。

日本
(△14.8%)

- 自動車生産台数は、前年同期比97%と減少し、加えてベルト非装着車種が全体の約2割を占め、ベルト、オートテンショナなどが減少。
- 代理店において補修市場向け製品の前期末分の在庫調整により売上高が減少。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高



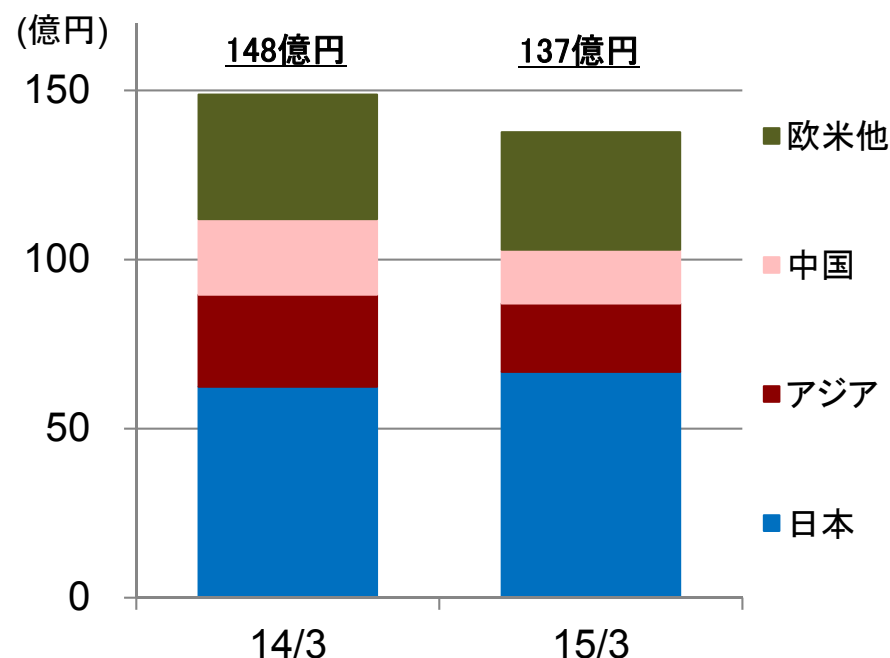
自動車
部品
(+1.9%)

- 伝動ベルト(製品構成比率53%→52%)
注力するアジア市場においては、二輪・四輪向けベルトが増加するも全体では前年同期比横ばい。
- システム製品(製品構成比率42%→43%)
日本市場におけるベルト非装着車種の増加はあったが全体では前年同期比微増。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品)

所在地別売上高



欧米他
(△5.8%)

- 欧州は設備投資が低調に推移し、前年同期比88%。
- 米国はOEM向けが減少。

中国
(△28.8%)

- 農機メーカーへの補助金停止により農機用ベルトが減少。(2015年1月より解除)

アジア
(△25.7%)

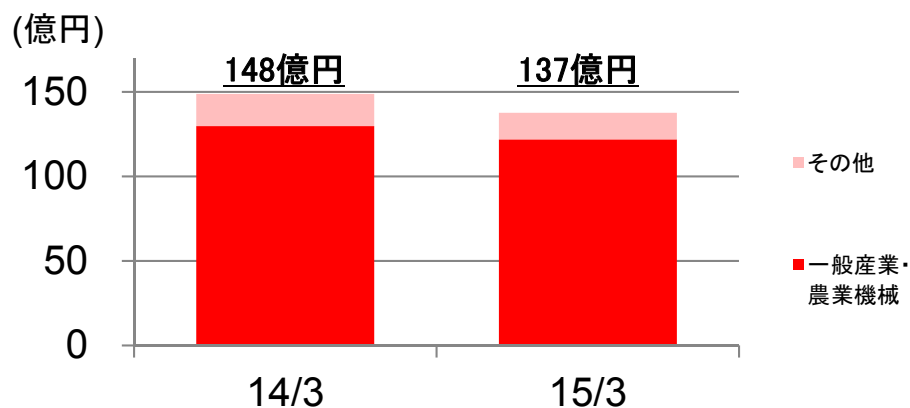
- タイにおける政情不安による景気後退の影響により売上高が減少。

日本
(+7.0%)

- 消費税増税の反動減の中、地域に密着した積極的な営業活動、電子商取引の導入により売上高が増加。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高



一般産業用
伝動ベルト
(△7.5%)

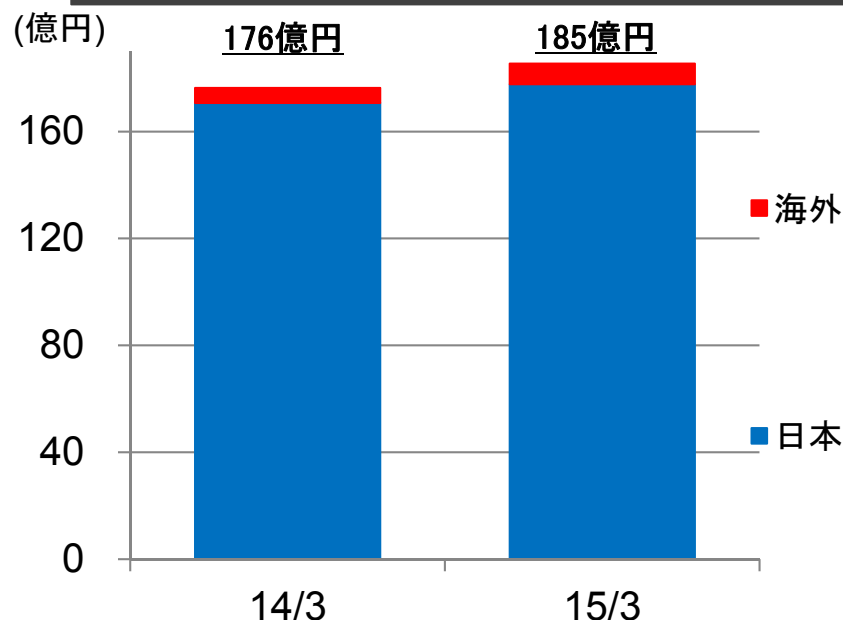
- 農業機械用ベルトについては、中国における農業機械購入補助金の一時停止やタイにおける政局混乱に起因する農業機械の需要減少などにより販売が減少。

(注1)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

(注2)当期より「OA・精密機械用」製品は、精密機能部品製品に集計。

産業資材事業 概要(運搬ベルト)

所在地別売上高



海外
(+37.8%)

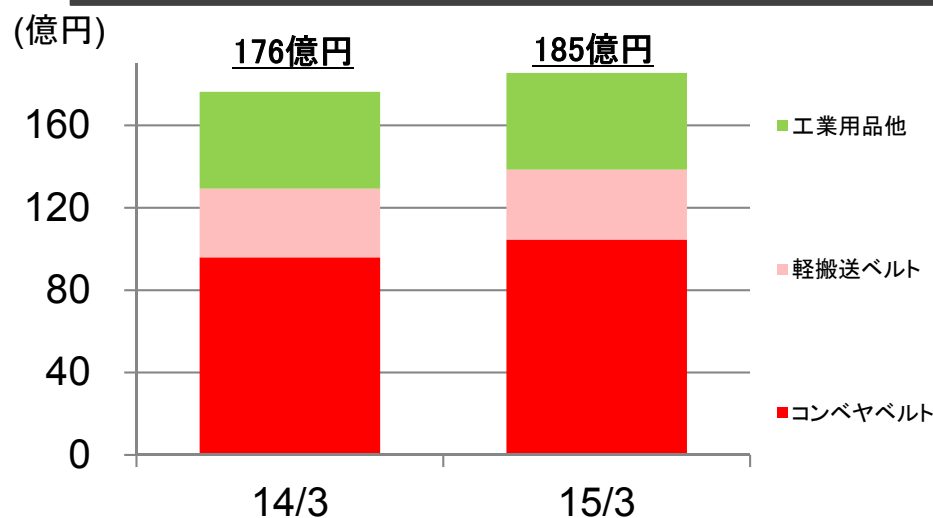
- アジア地域におけるコンベヤが増加。
- 軽搬送ベルトは東南アジアで増加。

日本
(+4.1%)

- 資源開発用コンベヤは減少。
- 火力発電向けFベルトは減少。
- 鉄鋼、製鉄所向けコンベヤが増加。
- 軽搬送ベルトは増加。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高



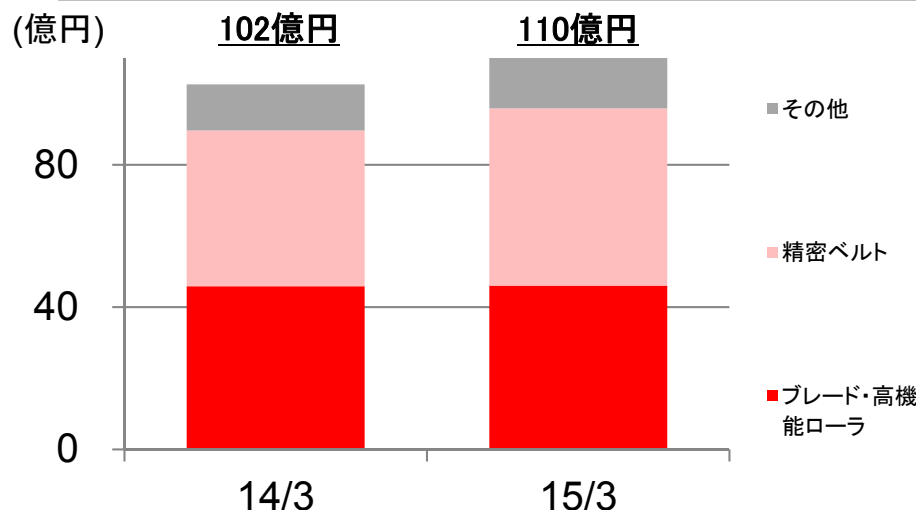
運搬ベルト
(+5.2%)

- 軽搬送ベルトは国内の物流分野で増加。
- コンベヤは、資源開発用の輸出案件が減少したものの、製鉄所向けが好調に推移したことにより売上高は増加。
- 工業用品の売上高は微減。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

■ エラストマー製品事業 概要

精密機能部品事業 製品別売上高

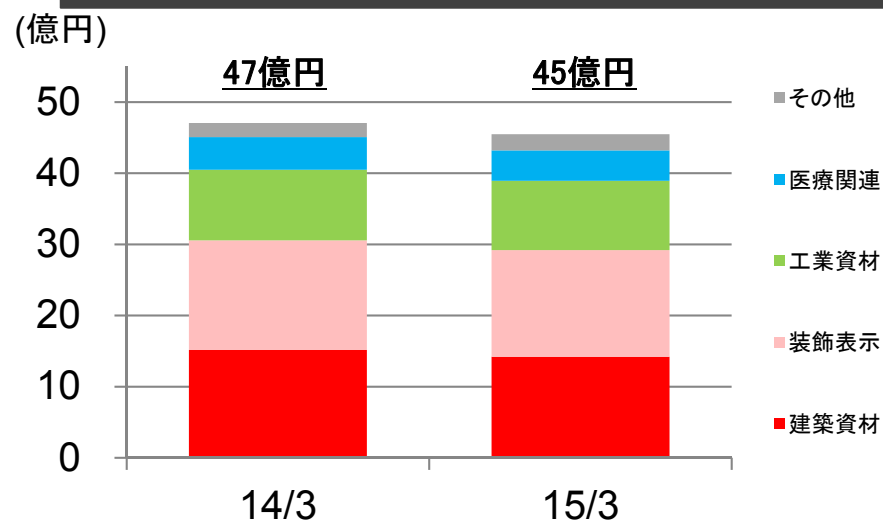


精密機能
部品
(+8.1%)

- ブレード・高機能ローラ: ブレードは主要顧客の製品内製化にともない減少。一方、高機能ローラは新機種の売上高が増加。
- 精密ベルト: 堅調に推移。
- その他: オプトエレクトロニクス市場に向けて営業活動を進めてきた精密研磨材の販売が徐々に増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

機能フィルム事業 製品別売上高



機能
フィルム
(△3.3%)

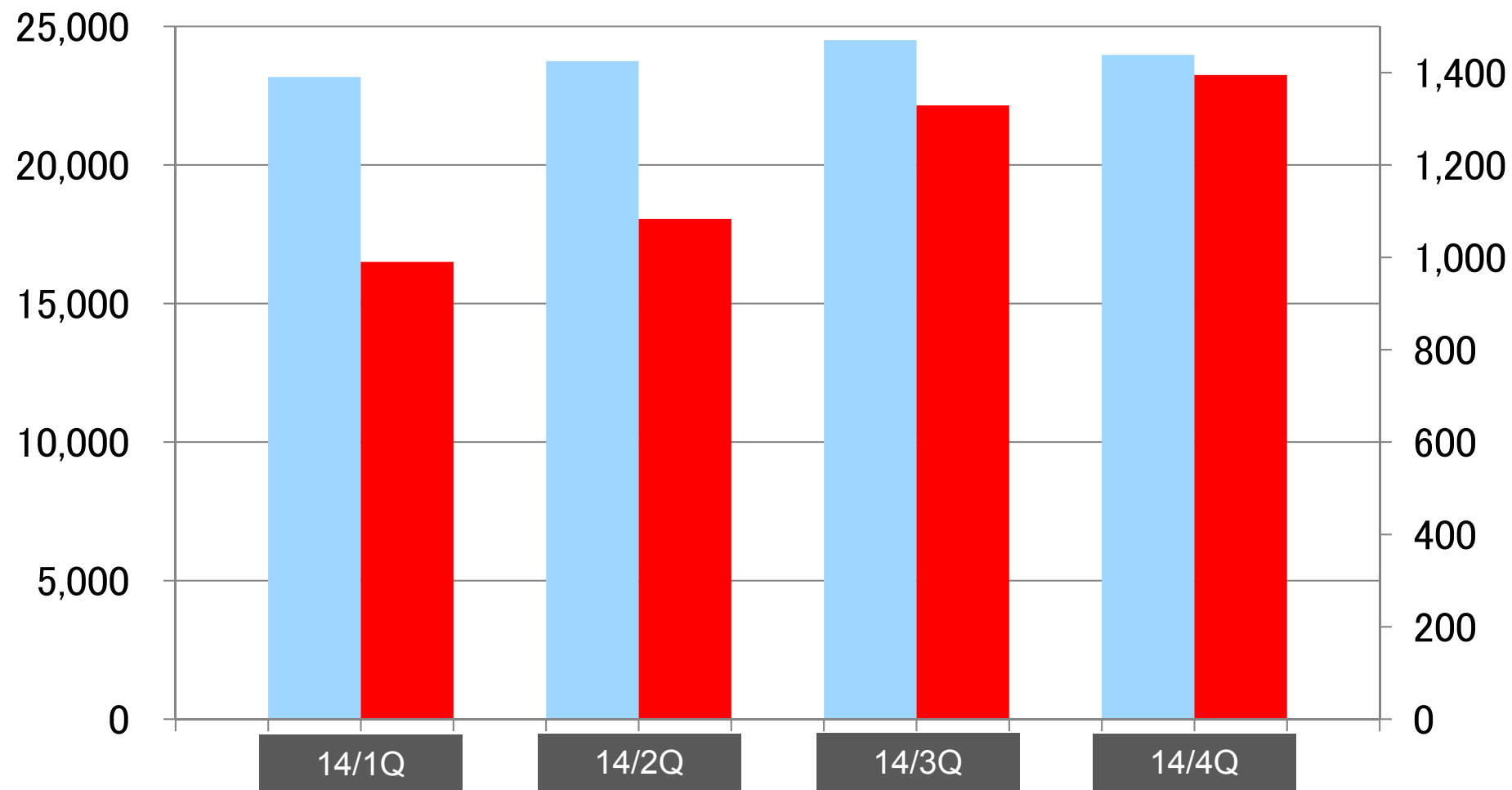
- 建築資材は、消費増税の反動減で販売が減少。
- 新製品の高級壁装用フィルムの販売開始。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

2015年3月期 売上高・営業利益四半期推移

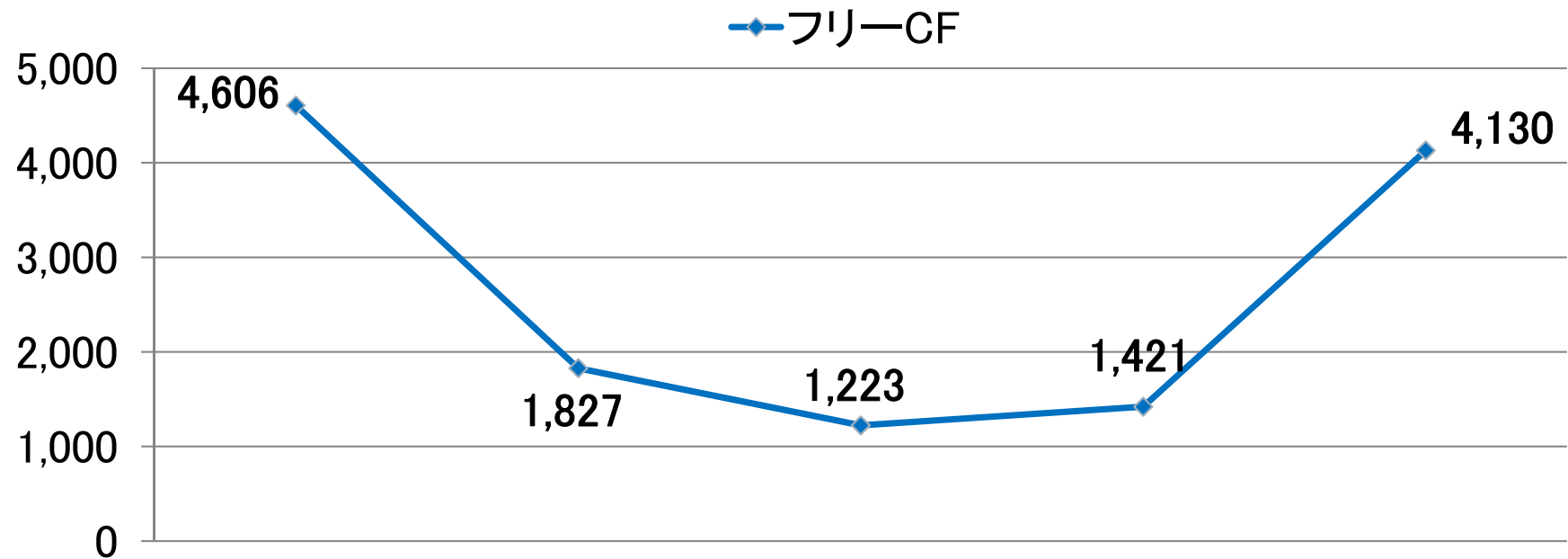
(単位:百万円)

- 連結売上高
- 連結営業利益(右目盛)



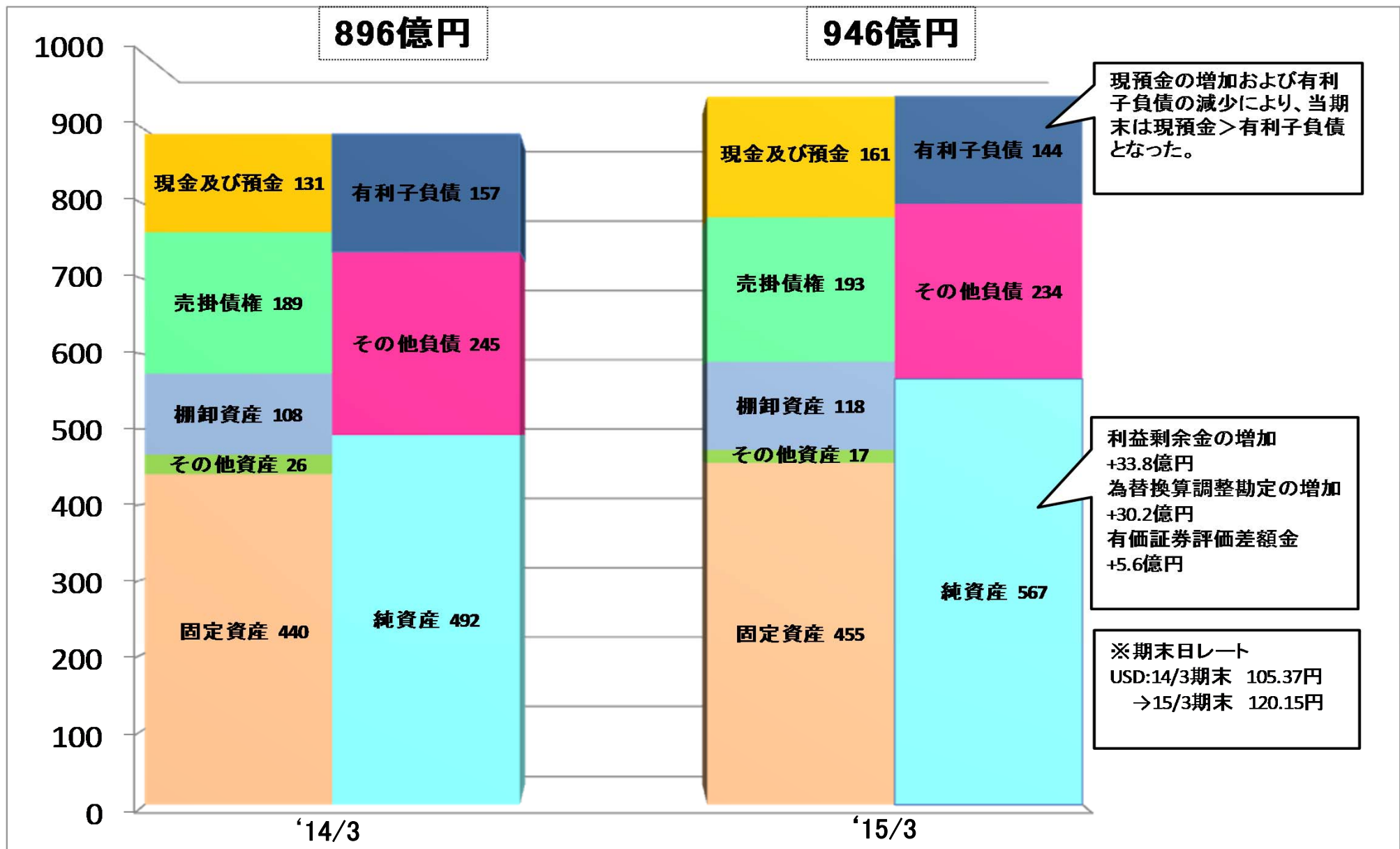
■ キャッシュフローの推移

(百万円)

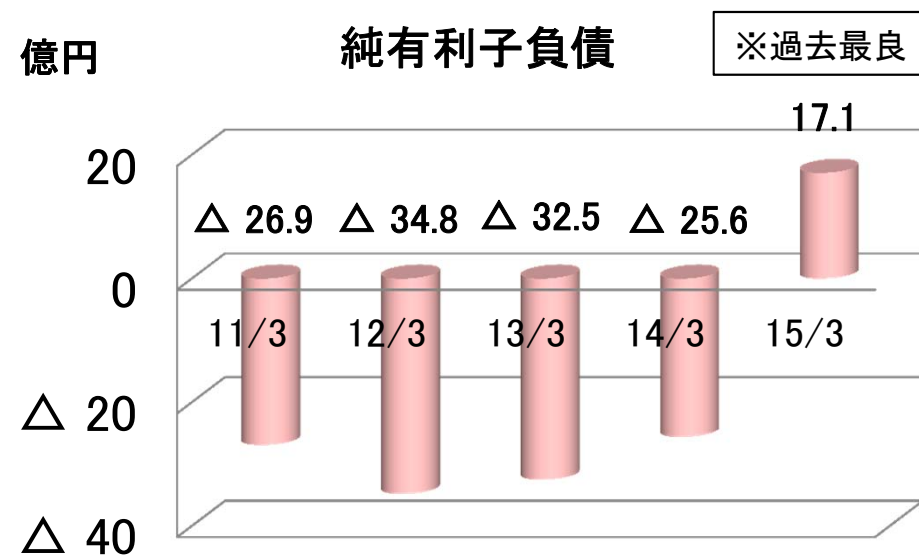
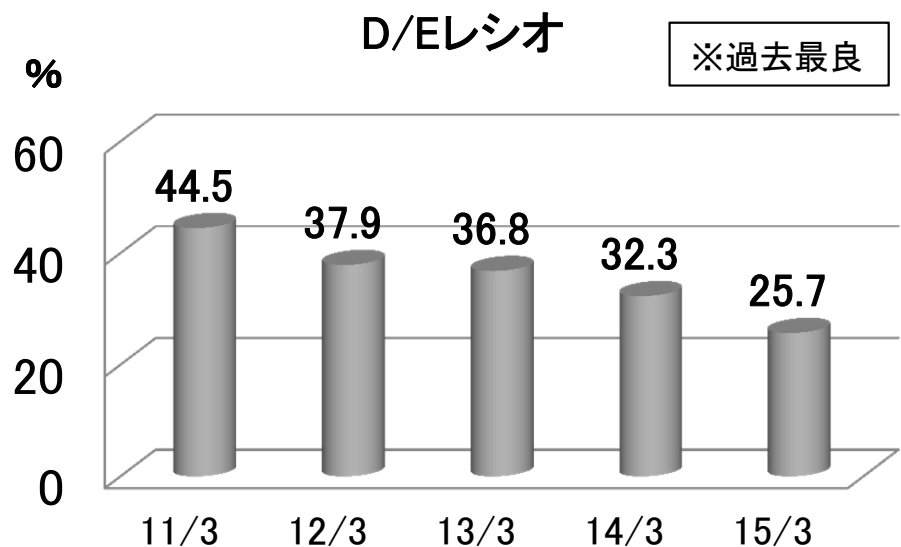
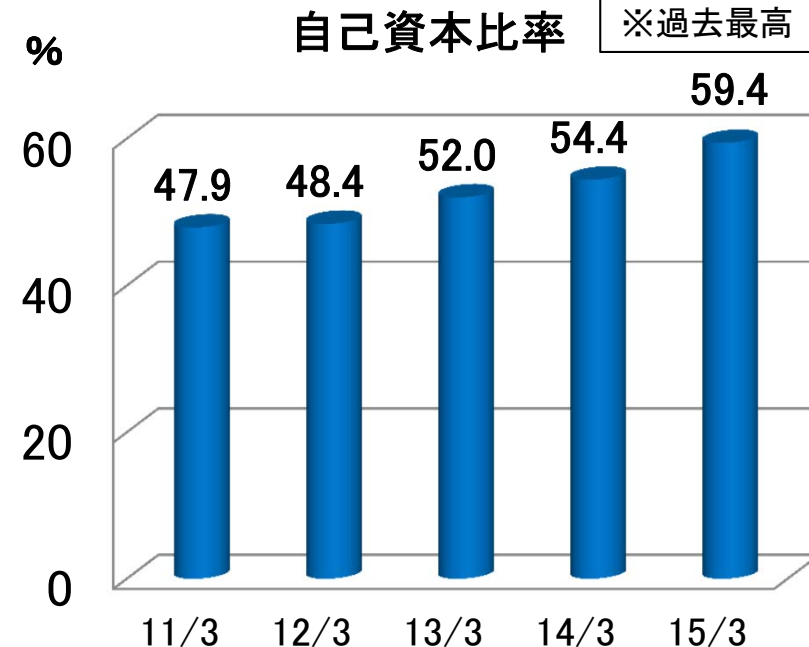
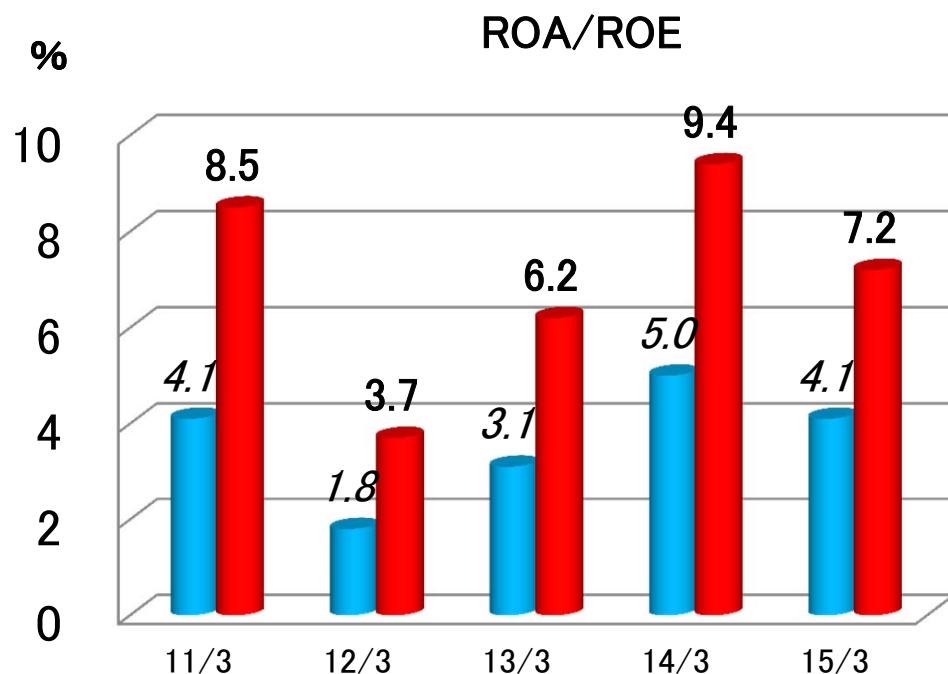


	11/3通期	12/3通期	13/3通期	14/3通期	15/3通期
営業CF	9,529	6,595	7,004	6,459	8,061
投資CF	△4,922	△4,767	△5,781	△5,037	△3,931
フリーCF	4,606	1,827	1,223	1,421	4,130

■ 連結貸借対照表



財務指標



Ⅲ. 2016年3月期 業績予想

■ 2016年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2014/3	2015/3		2016/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	93,434	95,395	100,000	4,604	+4.8%
営業利益	5,517	4,797	5,800	1,002	+20.9%
経常利益	6,103	5,730	6,800	1,069	+18.7%
当期純利益	4,280	3,758	4,500	741	+19.7%

販売面

- 自動車用ベルト市場においては、国内での需要減が見込まれるものの、アジア・中国及び北米での需要増、補修市場での積極的な販売活動により、販売拡大を見込みます。
- 産業資材市場においては、中国政府による補助金復活により、農業機械用ベルトの拡販に弾みがつくものと予想されます。加えて、2014年度までに開発してきた製品の本格的な販売拡充を推進します。
- 高機能エラストマー製品においては、精密研磨材やクリーニングシステム等の成長市場であるオプトエレクトロニクス市場の販売拡大を目指します。

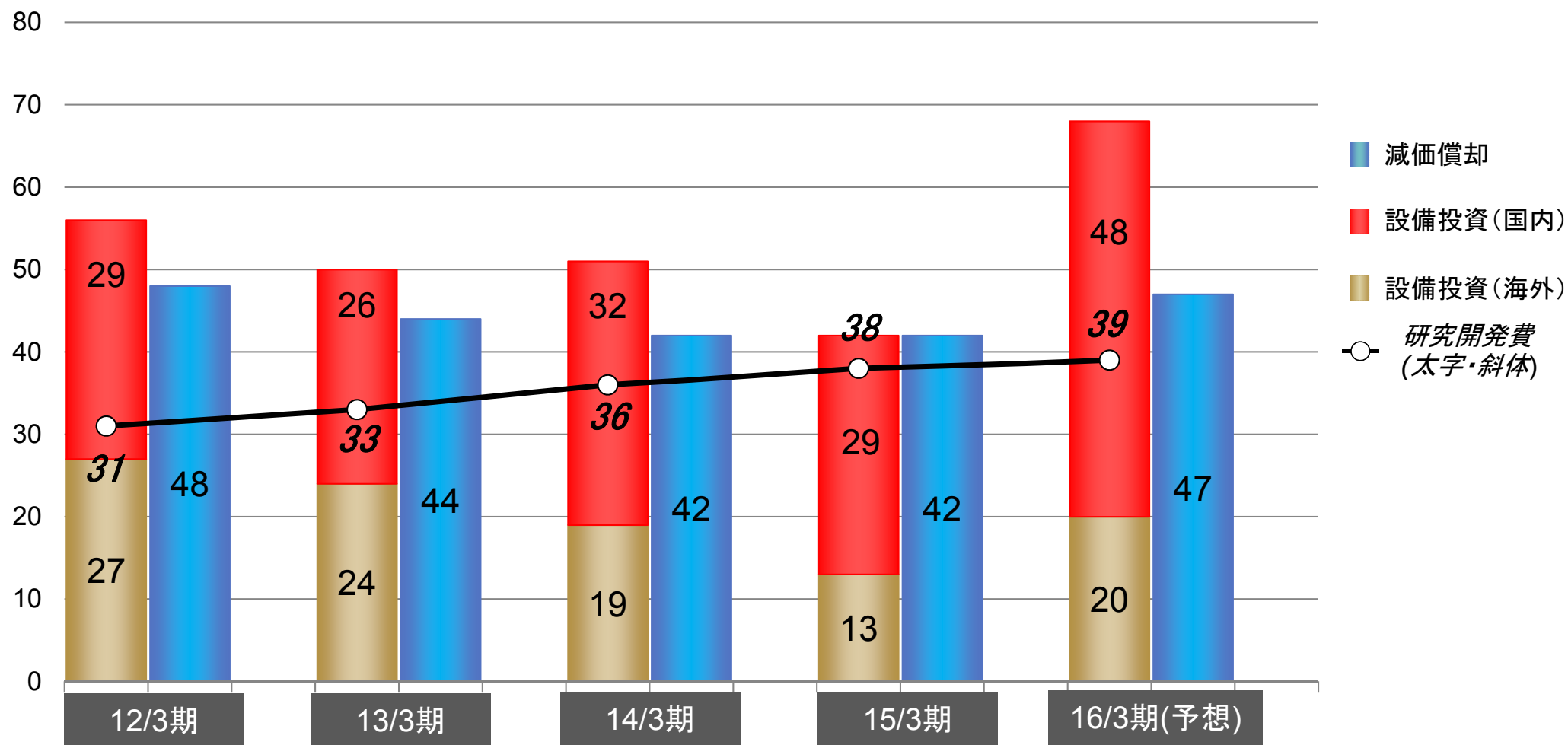
利益面

- 世界最適調達・生産・供給体制の確立により、総コストの低減を進めて参ります。また、昨年、一貫生産工場を設立したインドでは、現地生産品への切り換えを進めることにより、利益改善を図ります。
- コンベヤベルト・ポリウレタン製精密ベルト等での革新製法を本格稼働させコスト低減に寄与させてまいります。

為替

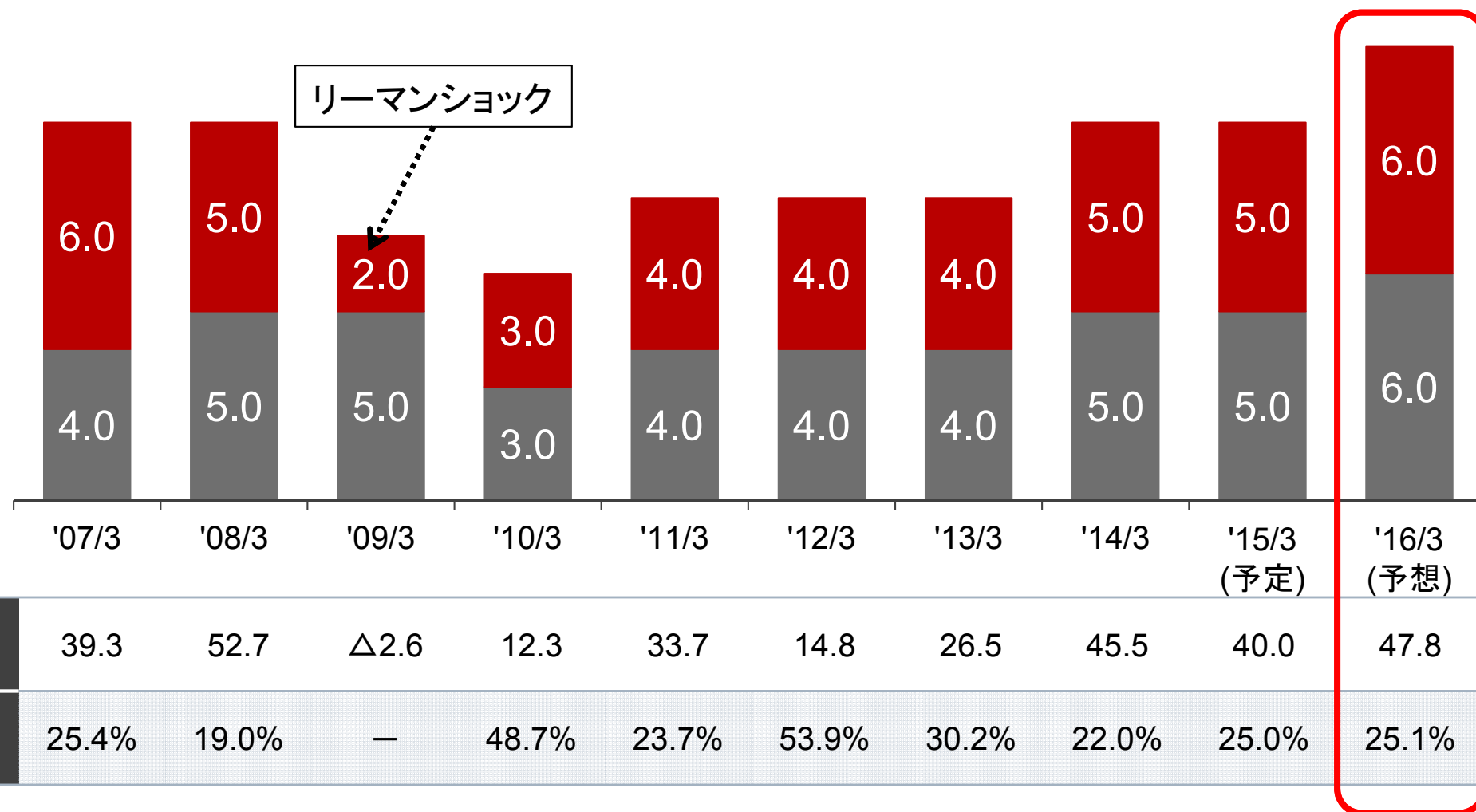
- 想定レート・・・1USD=120円、1EUR=130円、1人民元=20円

■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



(単位:億円)

株主配当の推移



IV. 中期経営計画

Breakthroughs for the future について

中長期経営計画“Breakthroughs for the future”

中長期経営計画“Breakthrough_s for the future” 『未来への躍進』

目指す姿：グローバルで『際立つ』サプライヤー

- 事業領域はベルトおよび機能製品分野、事業展開はグローバル
- キラリと光る付加価値製品の提供、キーワードは「環境・省エネ・高機能」
- ゴム・エラストマー・樹脂の「コア技術」と「信頼の品質」を活用

Breakthroughs for the future 1st Stage(2013～2017年度)

- ・ 現事業の進化と深化
- ・ 研究開発と市場開拓の強化

Breakthroughs for the future 2nd Stage(2018～2022年度)

- ・ 10年後のありたい姿の実現
- ・ ベルトに次ぐ事業の確立

■ BF -1:5つの指針



グローバル市場戦略の進化

2014年度取り組み

- ✓ インド、タイ、インドネシア、中国の生産能力を増強し、市場開拓を推進。
- ✓ 未開拓のグレートメコン市場におけるブランド認知度向上活動を推進。
- ✓ 欧州において、電子商取引システムを立ち上げ。



インドネシア P.T. Bando Indonesia



ドイツ Bando Europe GmbH

➡ 販売網・バリューチェーンを活用した販売拡大、新興市場開拓の推進、
世界最適調達・生産・供給体制の構築を図る。

2014年度の取り組み

■ 高付加価値製品への転換



✓ 軽搬送用ベルト「サンライン®ベルト」 製品体系リニューアル(14年4月)

お客様のニーズにマッチしたシンプルで、選びやすい品揃えにリニューアル。

◆物流分野への拡販(Mシリーズ)

◆食肉・水産分野への拡販(ウレタン単一材ベルト)



✓ インクジェットプリンター用 「壁紙メディア」(14年4月)

好みのデザインを手軽にプリントできるオリジナル壁紙。商業施設や一般住宅等をはじめとする多くのお客様から引き合いを獲得。



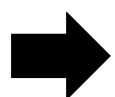
✓ 二輪車用「高効率変速ベルト」

ベルトの最適設計によって、伝動効率を向上し、二輪車の低燃費化に貢献。



✓ OA機器用「長寿命現像ローラ」

ウレタン配合技術を活用することによって、従来品に比べ、耐久面で大きく進歩。



近年の開発製品の販売拡大、高付加価値化製品の開発によって、高収益製品へのポートフォリオの転換を推進。

製品の進化③

■ 「市場最適仕様」製品の開発

- ✓ 中国/アジアの技術センターの活用。
 - ・現地スタッフ増員し、技術サービス体制を整備。



中国 中国技術センター



タイ アジア技術センター

➡ アジアの重点分野向けに、「市場最適仕様」製品の開発を加速。

ものづくりの進化

2014年度の取り組み

■ グローバル競争力の向上

- ✓ 加古川工場 コンベヤベルト生産ラインの刷新に着手。(16年1月 稼働予定)
- ✓ 足利工場ウレタン新製法の確立に着手。
- ✓ 主力のベルト製品の製法革新に着手。



コンベヤベルトの主力工場「加古川工場」



ウレタンベルトを製造する「足利工場」

➡ 新製法の確立等により、高い競争力を実現するものづくりを目指す。

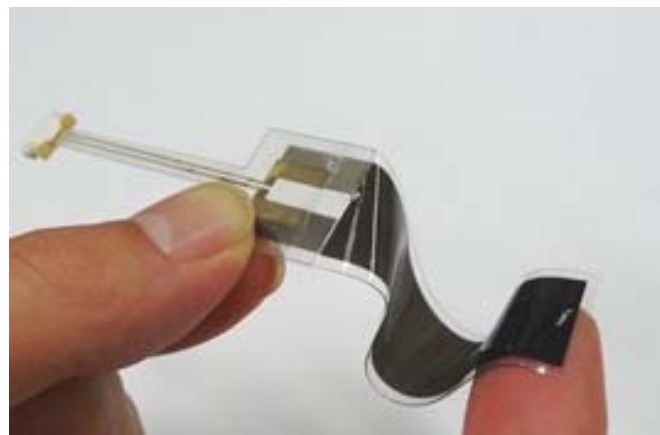
新事業の創出①

2014年度の取り組み

■ 神戸大学との「包括的な産学連携推進に関する協定」を締結（9月）



吉井社長と福田学長(当時)

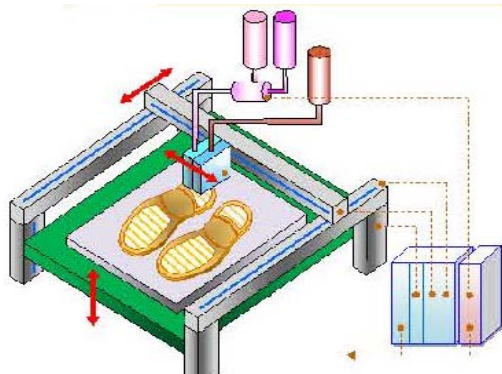


「伸縮性ひずみセンサ」の開発

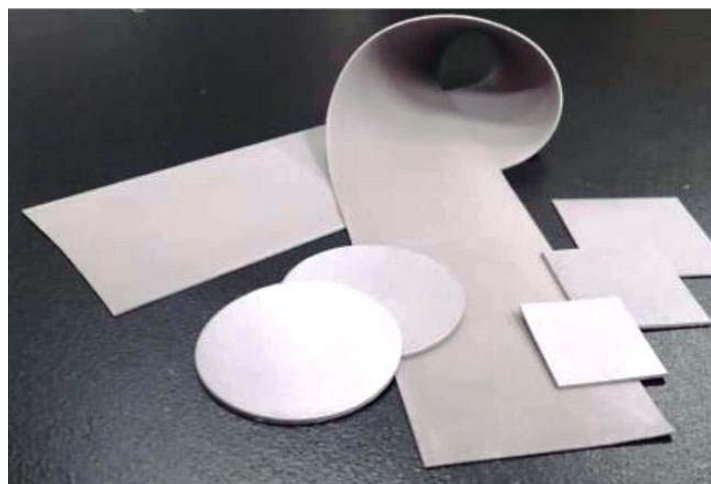
曲面への追従性が高く、取り付けが容易。
工業分野・医療分野での販売を目指す。

■ 内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) に参画（10月）

「リアクティブ3Dプリンタによるテーラーメイドラバー製品の設計生産と社会的な価値共創に関する研究開発」に参画。3Dプリンタ成形が可能な架橋ラバーなどを開発する。



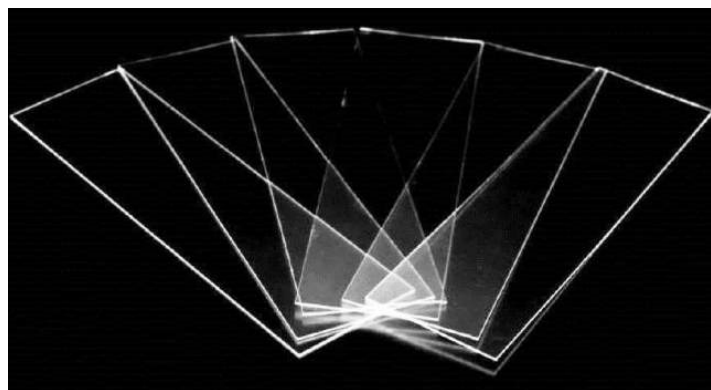
■ 当社コア技術(配合・分散・複合化)をベースとした研究開発の推進。



✓ 電子デバイスの低熱抵抗化に寄与する 「放熱シート」

熱伝導フィラーを垂直配向することで、高い熱伝導率を実現したことにより、発熱体から効率的に熱を逃がすことが可能。

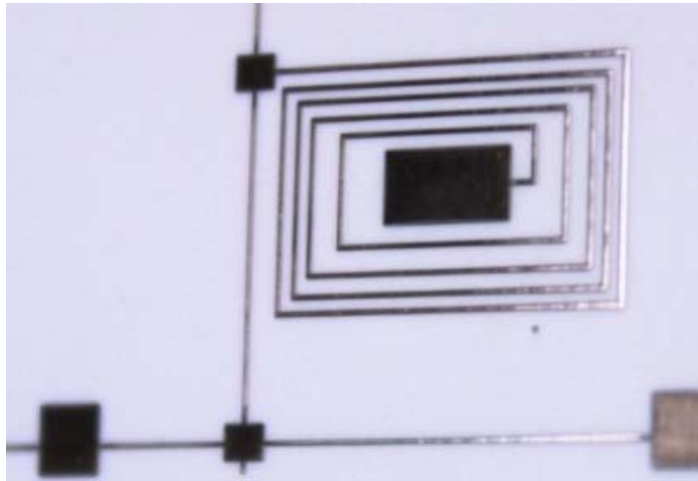
◆試験販売開始(15年5月)。



✓ 「光学用透明粘着剤(OCA)」

光学用透明粘着剤として、50～2000 μm の幅広い厚みに対応。

◆量産販売開始予定(15年下期)。



✓ 「室温焼成型銀ナノ粒子インク」

室温で乾燥させるだけで、導電性が得られるため、加熱することなく電子回路を作製することが可能。

◆量産販売開始予定(15年下期)。



✓ 「銀ナノ粒子接合材」

低融点加熱で接合可能な半導体素子と回路基板の接合材。主に金すずはんだの代替用途として、営業活動を推進。

➡ 今後、次代の柱となる新製品、新事業の創出に向けた研究開発に注力。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問合せ先

財務部 資金・管財グループ 上田 哲之

財務部 資金・管財グループ 蓮野 孝司

電話番号：(078)304-2960

メールアドレス：tetuyuki.ueda@bando.co.jp